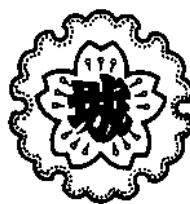


学校日より

済美



南砺市立城端小学校
令和5年11月25日

右肩上がりの太い矢印

◆笑顔あふれる城端地域の子供たち

10月以降、城端地域の学校、園、児童館や交流センター等で多くの行事が行われました。様々な場面で地域の子供たちの笑顔を目にしてうれしく思いました。園児から生徒に至るまで、子供はこんなにも立派に、たくましく成長するのだと改めて実感しました。8か月前までは園児だった1年生も、もう立派な城端小学校の子供。一日一日元気に学校生活を送り、できることがどんどん増えています。

◆プロセス（過程）に目を向ける

中学校の学習発表会では、身長が伸び、大人っぽくなった1年生の成長に感心しました。久しぶりにその姿を目にしたからこそ、そう感じたのでしょうか。また、入学から今日まで多くの経験を積んできたからこそ、こんなに成長したのだろうとも思いました。「どきっ」としたのはその後です。最近の私は、毎日顔を合わせている城端っ子の成長を感じ取れているだろうか。結果だけに目を向けてプロセス（過程）を見ていないのではないだろうかと…。

◆長いスパンで成長を支える

結果が全てと言う人もいますが、私はプロセス（過程）も大切にしたいと思っています。誰だって結果だけを問われると、つらいですね。目当ての達成に向け努力している期間、寄り添い、認め励ますことが子供の成長には欠かせないと思っています。長いスパンの中で子供を支え、成長を感じ取りたいものです。

「人生、いいときもあれば悪いときもある。人は、右肩上がりの太い矢印の中で生きている。」じょうはな座でのフォーラムで出会った言葉が私の心に響きました。

(犀川)

<12月の主な行事予定>

- 1日(金) 集団登校
- 4日(月) 委員会
- 8日(金) さわやかデー・ベルマークの日
- 11日(月) クラブ・学校集金
高学年弁当の日②
- 15日(金) 集団登校・地区児童会・集団下校
- 20日(水) 保護者会(南山田・北野)
- 21日(木) 保護者会(城端・大鋸屋・蓑谷)
- 22日(金) 終業式・給食終了



<1月の主な行事予定>

- 9日(火) 3学期始業式・給食開始
校内書初め大会
- 10日(水) さわやかデー・学校集金
高学年身体視力測定
- 11日(木) 中学年身体視力測定
- 12日(金) 低学年身体視力測定
- 15日(月) 集団登校・避難訓練
高学年弁当の日③
- 19日(金) スキー学習(2・3・5年生)
- 25日(木) 城端中学校入学説明会(予定)
- 26日(金) スキー学習(1・4・6年生)



～ぽかぽかコラム 4年生の取組より～

4年生は体育科の学習で鉄棒に取り組んでいます。逆上がりができるようになることを目指し、コツを確かめながら何度もチャレンジしています。逆上がりができる子供たちは「逆上がりリーダー」となり、友達同士で教え合っている姿がたくさん見られます。最初はすぐに手が痛くなって弱気になってしまう子供たちでしたが、「足が上がっているからもうすぐできるよ!」と励まし、「どこを直せばできるようになるんだろう?」と一緒に悩みながら、あきらめずに練習しています。逆上がりに限らず、苦手なことにも友達と協力してチャレンジすることができるように頑張ります。



〈グラウンドにて〉

4年担任 天池 杏璃

教育活動から

【チャレンジ持久走】

チャレンジ持久走では、自分の記録をのばしたい! 体力をつけたい! とやる気に満ち溢れた子供たちが参加しました。また、頑張る仲間に全校みんなまで応援しました。



〈11月9日(木) 高学年〉



〈11月14日(火) 低・中学年〉



道徳科の学習では、「思いやり」や「こころ遣い」といった行動の土台となる「思い」や「こころ」を耕し、さらに豊かにすることを目指しています。

ある学級での道徳科の学習の一場面を紹介します。

～～学級新聞作りで、友達と言い争いが起こった場面から～～

- ◆ 「みんなで考えたんだから!」「話合いで決めたやり方を守るべきだよ!」
- ◇ 「でも、もっといいやり方を見つけたんだ!」「すぐに否定しないでよ!」



子供たちは登場人物になりきってお互いの気持ちを考えます。日頃の生活や学習発表会等、実際に経験したことを基に発言した子供もいたのでしょう。

そのうち、お互いに「いいものを作りたい」という同じ気持ちがあることに気付き、「怒らないで最後まで話を聞いてあげたらよかった」「自分の考えが正しいって思っちゃった」「考えを広げていくってすてき」と、友達とよりよいものをつくっていくときの大切なことを見つけていました。でも、即実践は難しいこと。今日の話合いが、いつかの行動につながっていくことを願って。

「今日の道徳はどんなお話だった?」ぜひ、ご家庭でも話題にしてみてもいいのではないでしょうか。

(道徳教育推進担当 荒井 鮎美)